5. 3 加減速時間を設定する

AU 1：おまかせ加減速
ACC：加速時間１
dEC：減速時間１

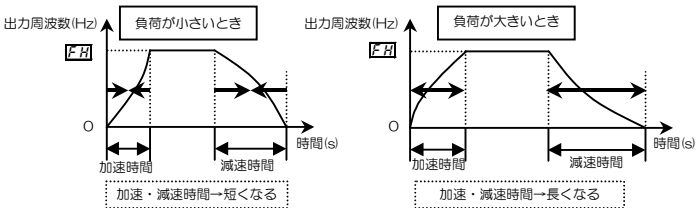
・機能
1） 加速時間１ACCは、インバータの出力周波数が 0Hz から最高周波数FHに到達するまでの時間を設定します。
2） 減速時間１dECは、インバータの出力周波数が最高周波数FHから 0Hz になるまでの時間を設定します。

5. 3. 1 おまかせ加減速

負荷の大きさに合わせて、加速・減速時間を自動的に調整します。

AU 1= 1
＊インバータ定格電流以内でACC，dECの設定時間の１／８倍～８倍の間で自動調整を行います。

AU 1=2
＊自動調整を加速時のみ行ないます。減速時は自動調整を行なわず、dECの設定にしたがって減速します。



AU 1(おまかせ加減速)を 1または2に設定します。

[パラメータ設定]

タイトル	機　能	調整範囲	標準出荷設定値
AU 1	おまかせ加減速	0：なし（手動設定） 1：自動設定 2：自動設定（加速時のみ）	0

☆加減速時間を自動設定にした場合、常に負荷に合わせて加減速時間は変更されます。負荷の変動によって加減速時間は常に変化します。一定の加減速時間を必要な機械には手動設定（ACC、dEC）を使用してください。
☆あらかじめ、平均負荷に見合った加減速時間(ACC、dEC)を設定しておくと、さらに負荷変化に対応した最適な設定が可能となります。
☆このパラメータは、実際にモータを接続してから使用してください。
☆変動の激しい負荷においては、加減速時間が追従できずにトリップに至ることがあります。
☆負荷に応じて減速完了位置が変化してしまうので、当て止め／当て押し機能を使用する場合ご注意ください。

［おまかせ加減速の設定方法］

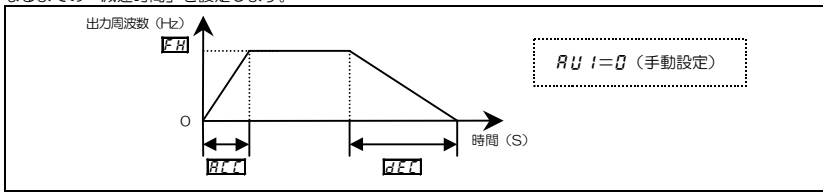
パネル操作	ＬＥＤ表示	動　　作
	0.0	運転周波数を表示。 （標準モニタ表示選択F710=0［運転周波数］設定の場合）
MODE	AUH	基本パラメータの先頭の"ヒストリ機能(AUH)"を表示します。
	AU1	設定ダイヤルを右に回して、パラメータをAU1へ変更します。
	0	設定ダイヤルの中央部を押すことにより、パラメータ値を読み出すことができます。
	1	設定ダイヤルを右に回して、パラメータを1または2へ変更します。
	1⇔AU1	パラメータ値を書き込みます。AU1とパラメータ値を交互に表示します。

☆いずれかの入力端子に、強制減速指令（機能番号：122、123）を割り付けることにより、強制的におまかせ減速運転にすることが可能です。

5

5．3．2　手動による加速・減速時間の設定

運転周波数が0.0から最高周波数FHに到達するまでの「加速時間」と、運転周波数が最高周波数FHから0.0になるまでの「減速時間」を設定します。



［パラメータ設定］

タイトル	機　　能	調整範囲	標準出荷設定値
ACC	加速時間1	0.0～3000（s）	1.5
dEC	減速時間1	0.0～3000（s）	5.0

注）：加減速時間を0.0秒に設定すると、０.０５秒にて加減速を行ないます。
ただし、運転信号ＯＮして動作開始までに、磁極検出時間（位相検出時間）約0.１５ｓｅｃを要します。ご注意してください。

☆負荷の条件により決まる最適な加減速時間より短く設定した場合、過電流ストールや過電圧ストール機能により、加減速時間が設定値より長くなる場合があります。また、更に短い加減速時間に設定すると、インバータ保護のため過電流トリップや過電圧トリップする場合があります。（１３．１項を参照）

6．17　第２加減速

6．17．1　加減速1・2の切換え

F500：加速時間２
F501：減速時間２
F505：加減速１･２切換え周波数

・機能
加速・減速時間はそれぞれ２種類設定することができます。選択・切換えの方法は次の２つから選択できます。
1)周波数による切換え
2)端子による切換え

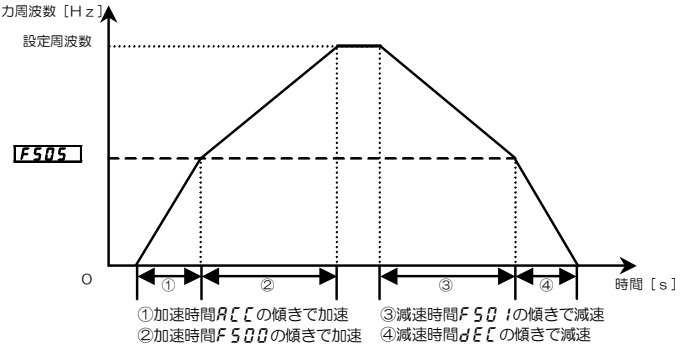
［パラメータ設定］

タイトル	機　能	調整範囲	標準出荷設定値
F500	加速時間２	0.0～3000（s）	10.0
F501	減速時間２	0.0～3000（s）	10.0

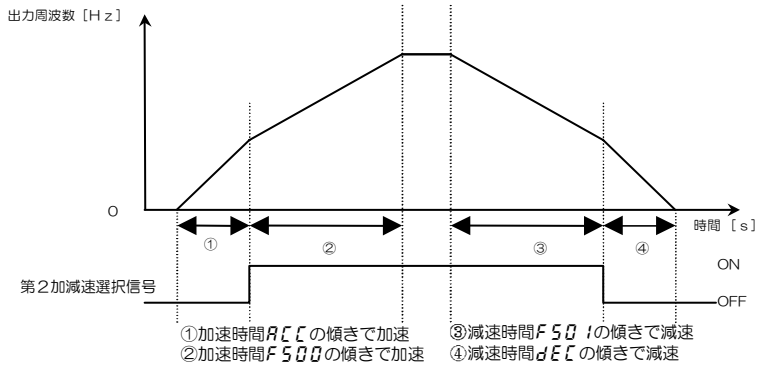
１）周波数による切換え（設定した周波数から加減速時間を自動的に切り換える）

［パラメータ設定］

タイトル	機　能	調整範囲	標準出荷設定値
F505	加減速１･２切換え周波数	0．0（不動作）、 0．1～UL	0.0



2）端子による切換え（外部端子により加減速時間を切り換える）



6

■パラメータの設定方法

a）運転方法は端子入力

運転操作選択CNOdを0（端子台）に設定します。

b）いずれかの入力端子に第２加減速への切換え機能を設定します。

入力端子 S2 に設定する例を示します。

タイトル	機　能	調整範囲	設 定 値
F114	入力端子選択４Ａ（Ｓ２）	0～201	24：AD2(第２加減速選択)

設定値 25 が反転信号です。

注）周波数による切換えを選択している場合、端子による切換えは動作しません。

端子による切換えを使用する時は、F505＝0.0 に設定して下さい。

6．17．2　加減速パターンの設定

F502：加減速１のパターン

F503：加減速２のパターン

・機能

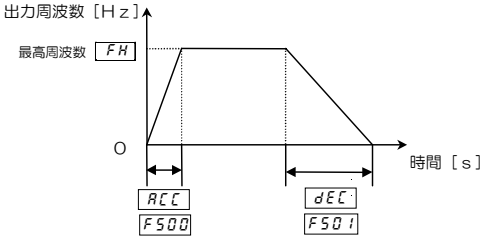
用途に適した加速・減速パターンを選択できます。

［パラメータ設定］

タイトル	機　能	調整範囲	標準出荷設定値
F502	加減速１のパターン	0：直線 1：S字1 2：S字2	0
F503	加減速２のパターン		0

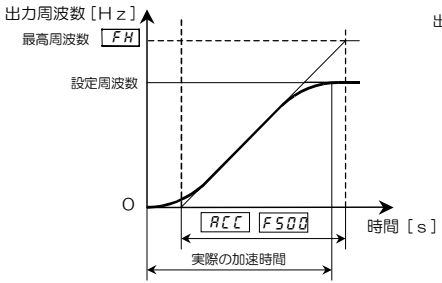
1）直線加減速

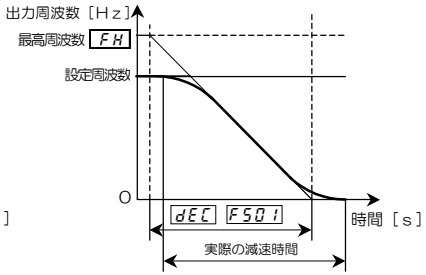
一般的な加減速パターンです。
通常はこの設定で使用できます。

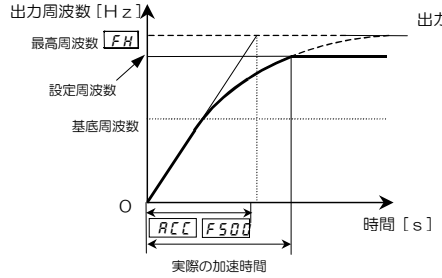
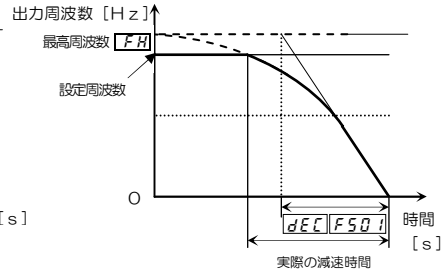


2）S字加減速1

60Hz 以上の高速域まで、短時間で加速・減速する必要がある場合や、加減速時のショックを和らげるとき使用します。搬送機などに適しています。





3）S字加減速2

モータの加速トルクが小さい界磁弱め領域でゆっくり加速します。